

住民意識調査結果概要

I 調査概要

<調査目的> 男女がお互いの人権を尊重し、共に支えあい、個性や能力を十分発揮しながら自分らしく生きていける社会を目指し、男女共同参画の視点から京丹後市における住民の生活や労働状況の実態、意識や考え方をお尋ねし、男女共同参画社会を推進する基礎資料とするために実施したものです。

<調査対象> 成人男女 2,000人 無作為抽出

<調査方法> 郵送による配布・回収

<調査期間> 平成16年10月15日～平成16年10月31日

<回収結果>

配布数	有効回答数	回収率
2,000	826	41.3%

<年齢別回収率>

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
H16.8末人口	5,797	7,338	7,705	9,320	8,611	5,262
配布数	207	344	358	459	417	215
回収数	53	115	132	216	188	120
回収率	25.6%	33.4%	36.9%	47.1%	45.1%	55.8%

<地区別回収率>

	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町
H16.8末人口	13,621	11,089	16,035	7,038	6,016	11,855
配布数	405	341	500	231	183	340
回収数	169	131	202	102	70	132
回収率	41.7%	38.4%	40.4%	44.2%	38.3%	38.8%

II 調査結果

男女平等に関する意識について

【男女平等の現状】

◆ 次の分野で男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。

ー いろんな分野で男性が優遇 ー

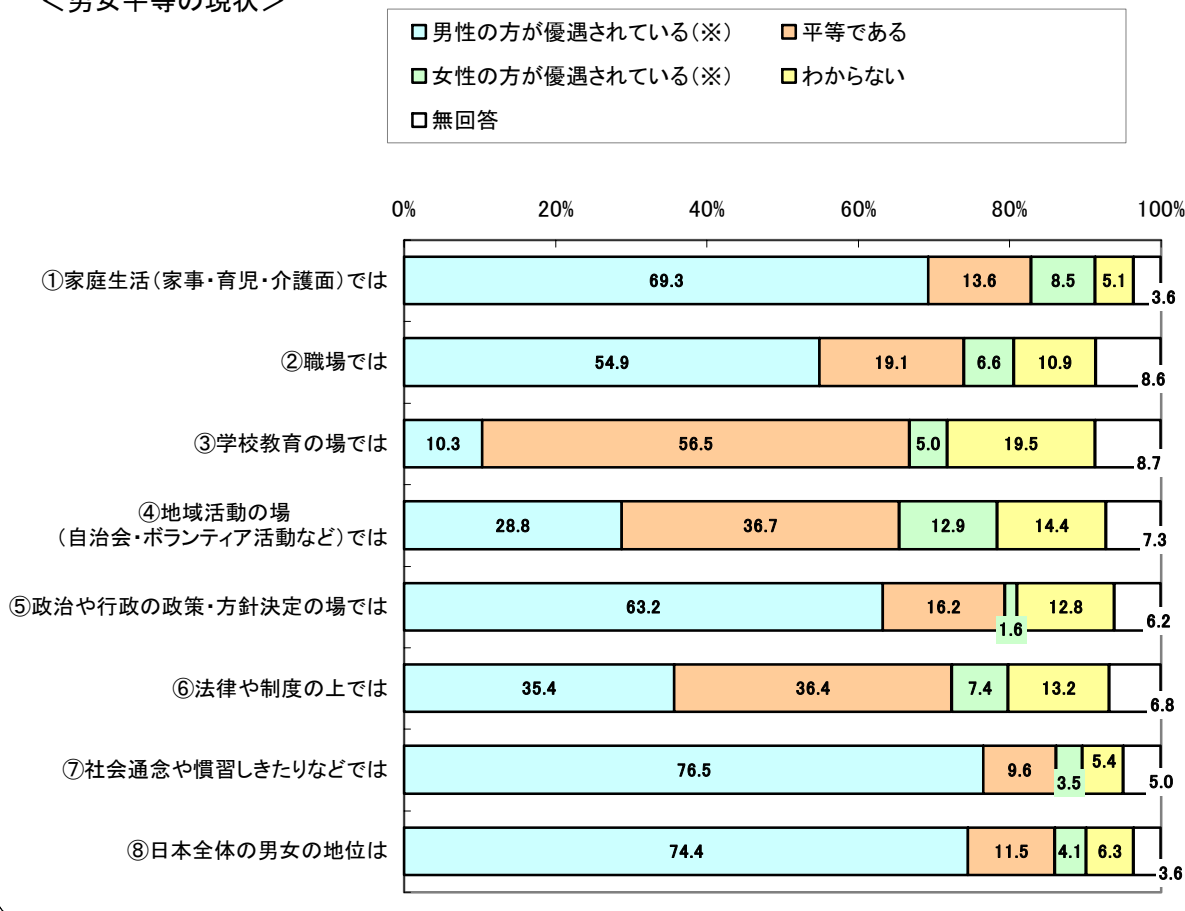
次の8項目のうち5項目（家庭生活・職場・政治や行政方針決定の場・社会通念や慣習しきたりなど・日本全体の男女の地位）では、「男性の方が優遇されている」と回答した人が過半数を占めている。

その中でも特に不平等を強く感じている（男性の方が優遇されているへの回答が多い）項目は、次のとおりとなっている。

社会通念や慣習・しきたりなど	76.5%
日本全体の男女の地位	74.4%
家庭生活（家事・育児・介護面）	69.3%

「平等である」と回答した人が過半数を占めているのは、学校教育の場への回答が56.5%で1項目のみとなっている。また、「女性の方が優遇されている」への回答は、すべての項目でわずかとなっている。

<男女平等の現状>



(※)「非常に優遇されている」と「どちらかといえば優遇されている」をあわせた数値

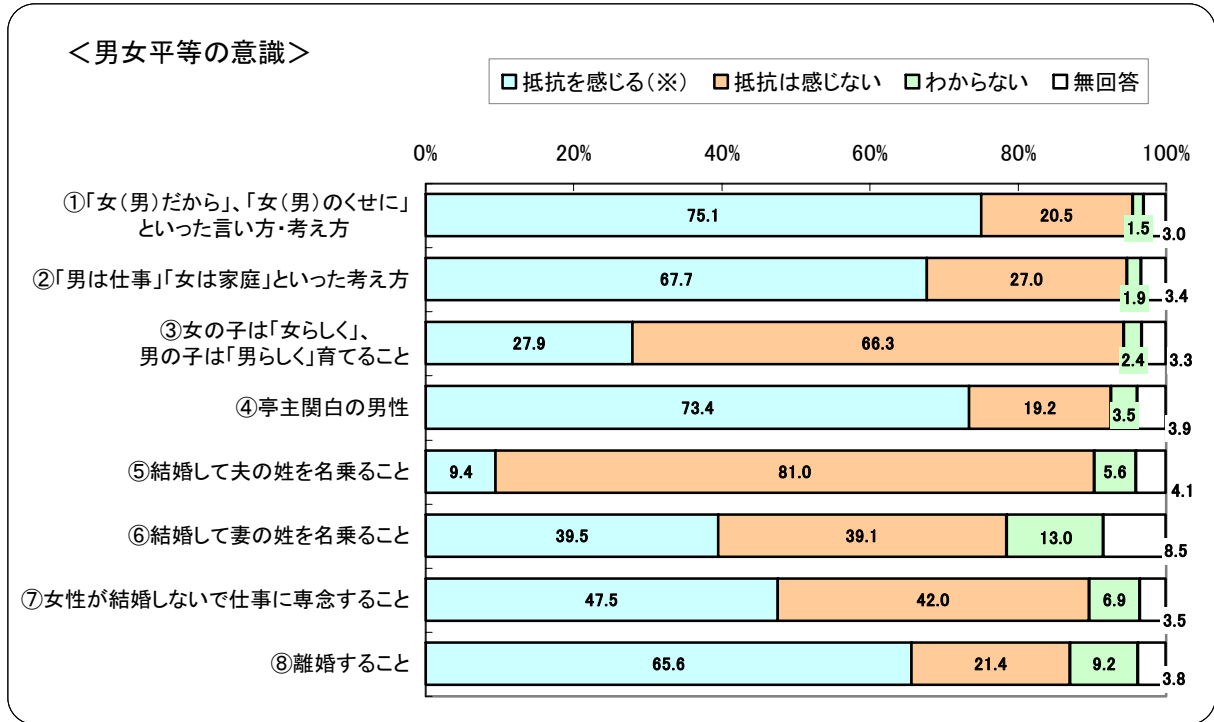
【男女平等の意識】

◆ 次の事柄についてどのように感じますか。

一 「女（男）だから・女（男）のくせに」は抵抗がある 一

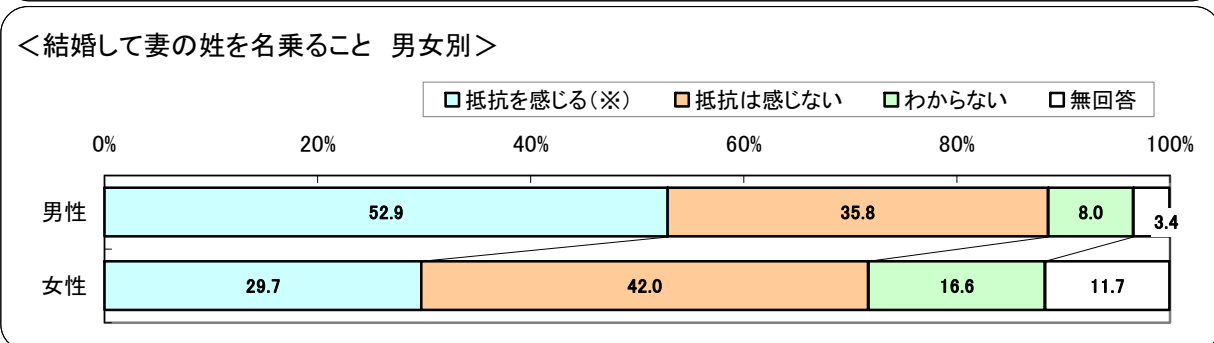
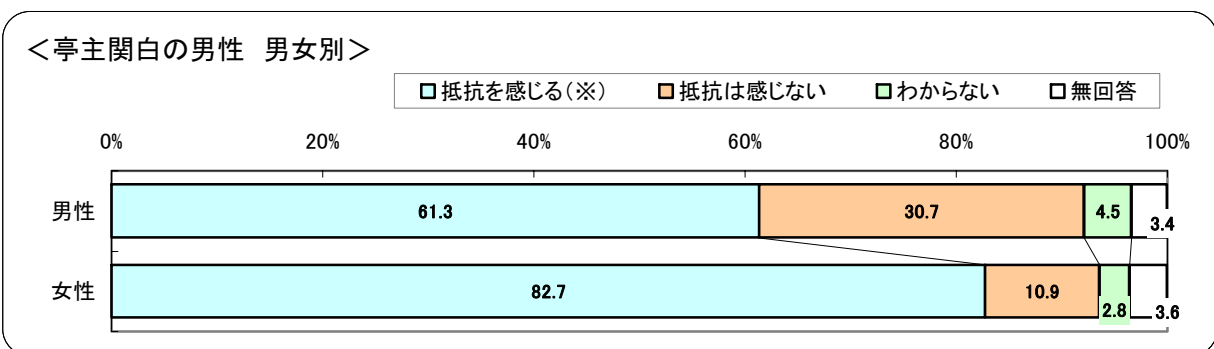
次の8項目のうち4項目は、「抵抗を感じる」と回答した人が過半数を占めている。その中でも特に抵抗感が強い項目は、「『女（男）だから』『女（男）のくせに』という言い方・考え方」や「亭主関白の男性」となっている。

「結婚して夫の姓を名乗ること」と「結婚して妻の姓を名乗ること」には、大きな意識の差があり、「抵抗は感じない」への回答で比較すると、「結婚して夫の姓を名乗ること」は、81.0%に対して「結婚して妻の姓を名乗ること」は、39.1%となっている。「結婚して妻の姓を名乗ること」への抵抗感が強いことがわかる。



(※)「非常に抵抗を感じる」と「少し抵抗を感じる」をあわせた数値

男女の意識の差が大きい項目でみると、「亭主関白の男性」では、女性の抵抗感が強く、「結婚して妻の姓を名乗ること」では、男性の抵抗感が強くなっている。



(※)「非常に抵抗を感じる」と「少し抵抗を感じる」をあわせた数値

職業生活について

<回答者の職業>

◆就労の状況

全体では、「会社員」がもっとも多く、19.6%となっているが、男女別でみると、男性では「会社員」が、29.5%でもっとも多く、女性では「パート・アルバイト・内職」が、17.9%でもっとも多くなっている。

職 種	全体	男性	女性
会社員	19.6%	29.5%	12.4%
公務員	9.1%	11.6%	7.2%
農林漁業	6.9%	8.0%	6.0%
機業	5.2%	3.7%	6.2%
自営業	13.0%	15.3%	11.3%
パート・アルバイト・内職	12.2%	4.8%	17.9%
学生	0.8%	0.9%	0.9%
家事専業	8.4%	0.3%	14.3%
無職	16.8%	17.9%	16.2%
その他	6.1%	6.5%	5.8%
無回答	1.9%	1.4%	1.9%

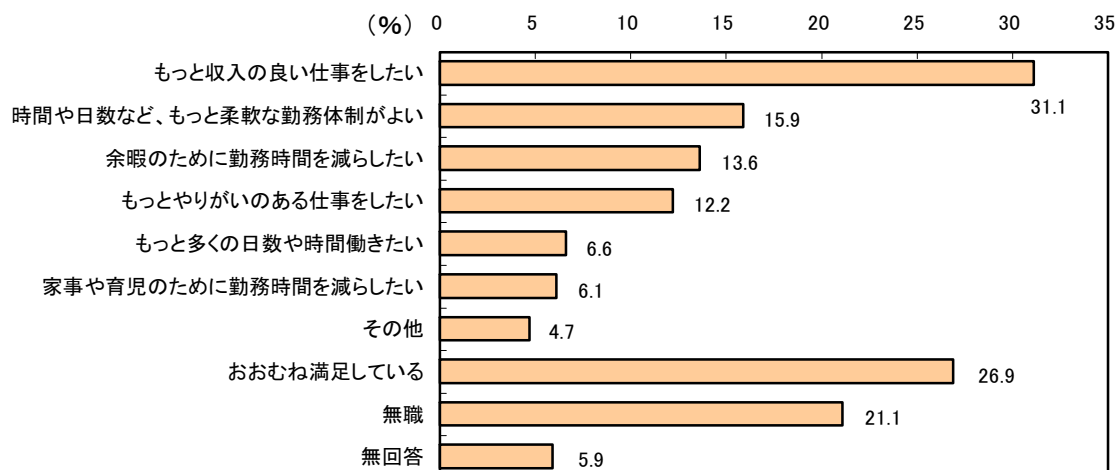
【現在の就労状況への希望】

◆現在の就労状況についてどう思われますか。

ー もっと収入の良い仕事をしたいが多数 ー

「もっと収入の良い仕事をしたい」と回答した人は、31.1%でもっとも多く、「おおむね満足している」は、26.9%となっている。

<就労状況への希望>



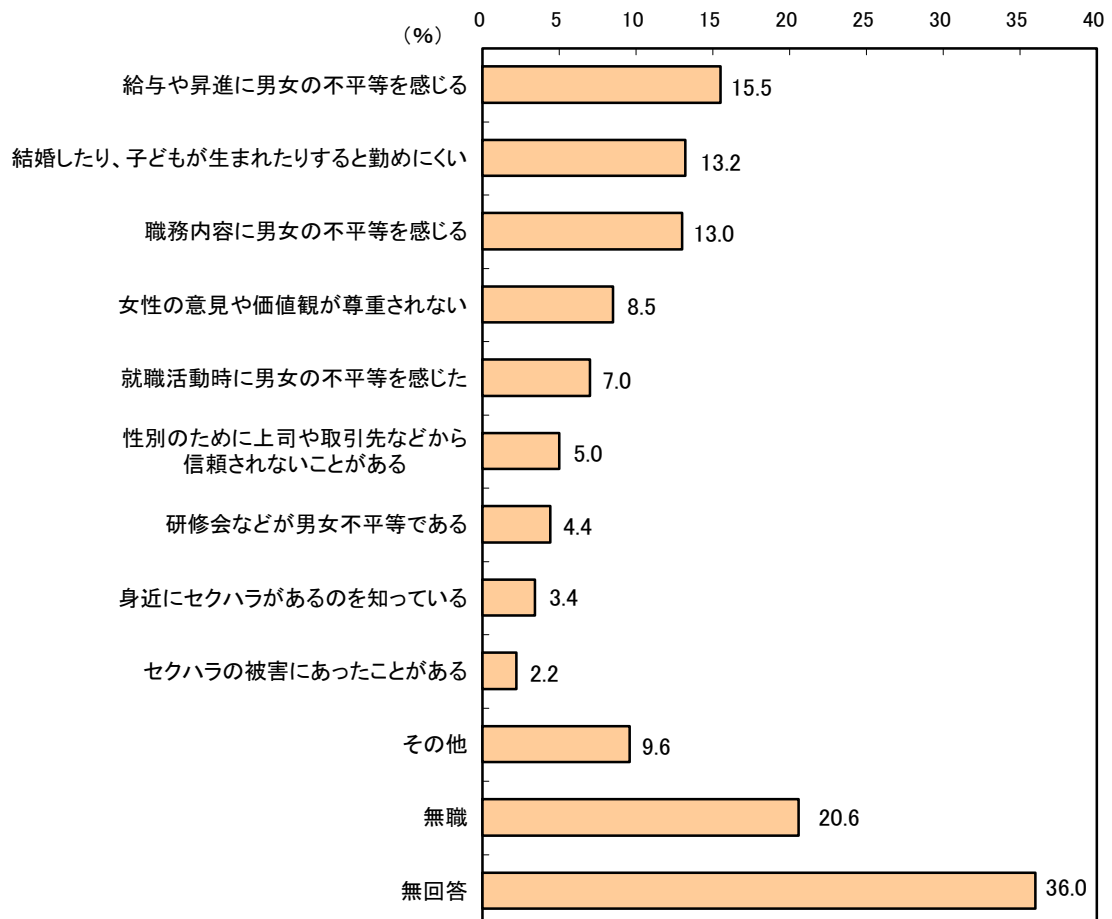
【職場における男女不平等の実態】

◆ あなたの職業・職場について、あてはまる事柄がありますか。

一 職場のこんなところに不平等を感じる 一

給与・昇進、職務内容など職場に何らかの不平等を感じていると回答した人は、826人中 359人で4割強となっている。

<職場の不平等の実態>



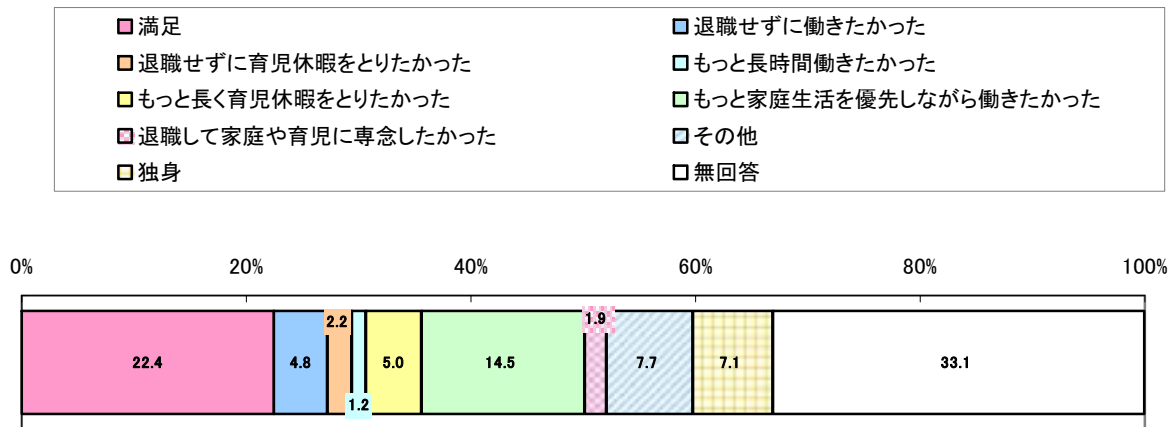
【結婚・出産後の就労への満足・不満足度】

◆結婚・出産後の就労に満足していますか。

－ 結婚や出産後の就労には不満足が多い －

結婚・出産後の就労については、「満足」と回答した人は22.4%となっており、「もっと家庭を優先しながら働きたかった」など不満足と感じている人は37.3%となっている。

<結婚・出産後の就労満足度>



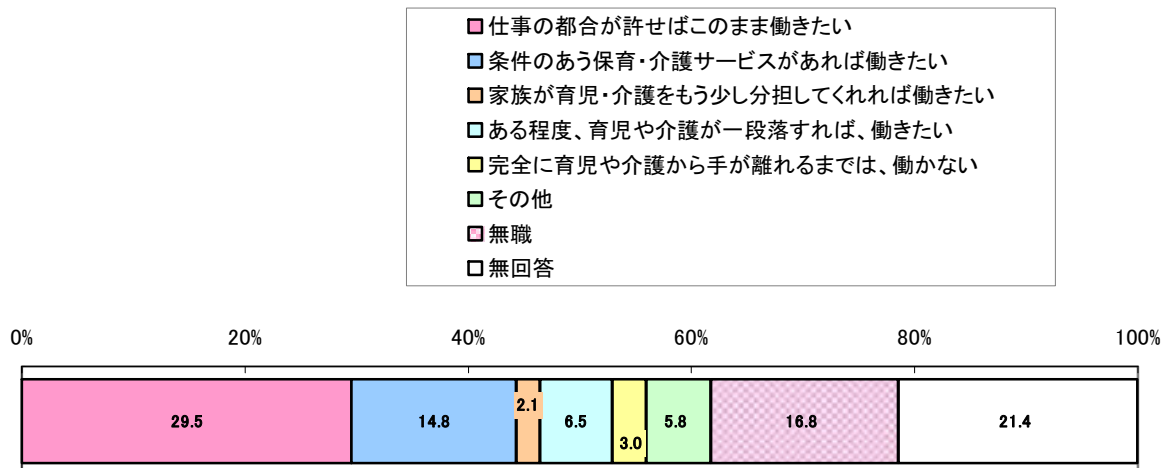
【育児・介護と仕事の両立についての希望】

◆育児や介護の必要な家族ができた場合、仕事を続けたいと思いますか。

－ できれば働きたいが多数 －

育児や介護の必要な家族ができた場合、「仕事の都合が許せばこのまま働きたい」が29.5%でもっとも多く、条件のあうサービス（保育・介護サービスや家族の協力）があれば働きたいと回答した人が16.9%で、5割弱の人がずっと働きたいと考えている。

<育児・介護と仕事の両立への希望>



【女性が職業をもつことへの意識】

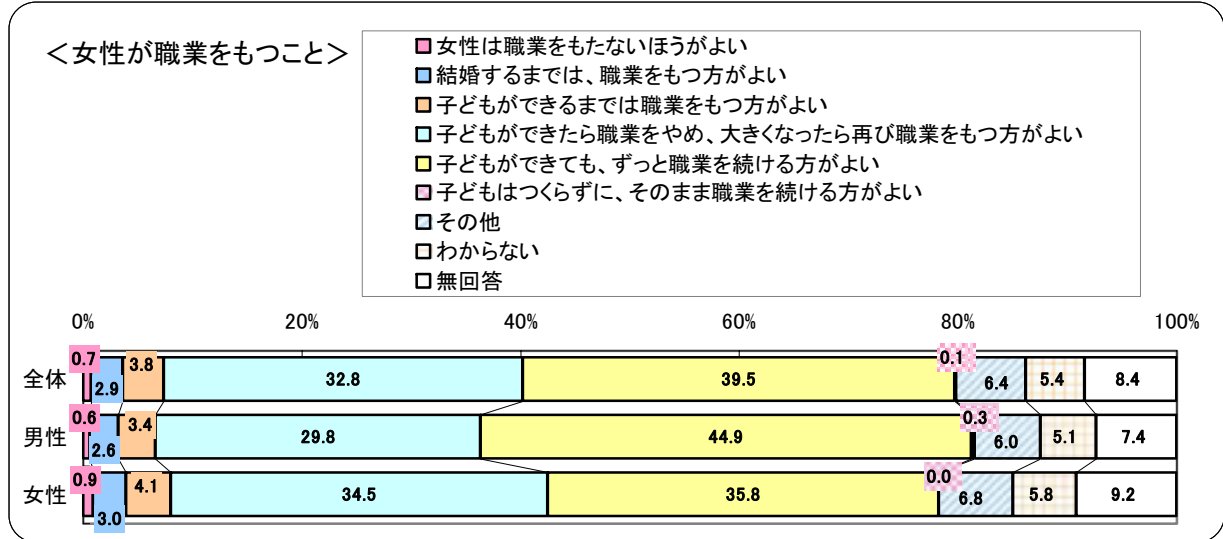
◆ 女性が職業をもつことについて、どのようにお考えですか。

一 女性も職業をもつことに賛成 一

「子どもができて、ずっと職業を続けるほうがよい」と回答した人は、39.5%でもっとも多く、育児期以外は職業をもつ方がよいと回答した人の32.8%をあわせると、7割以上の人が生涯を通じて職業をもつ方がよいと回答している。

「女性は職業をもたないほうがよい」への回答は、わずか0.7%（6人）となっている。

男女別でみると、「子どもができて、ずっと職業を続けるほうがよい」と回答した人は、男性で44.9%、女性で35.8%で、男性の方が多くなっている。

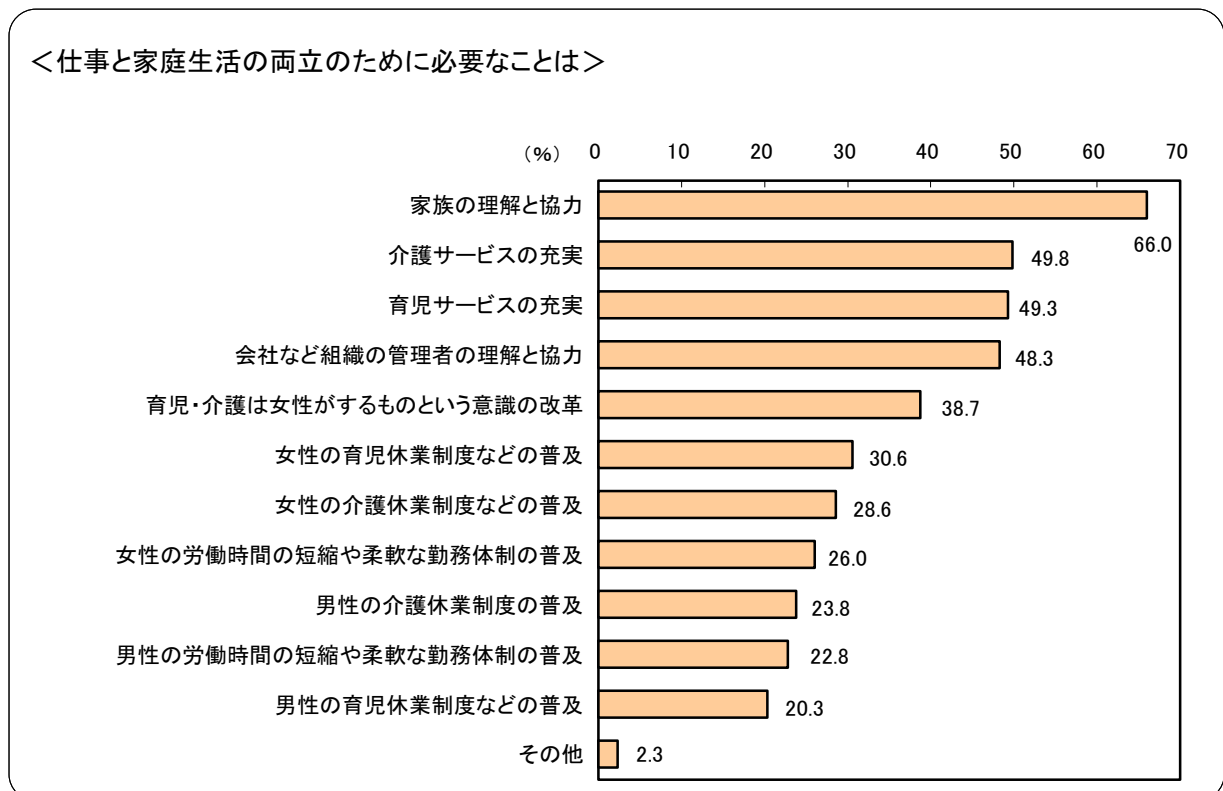


【仕事と家庭生活の両立のために必要なこと】

◆ 仕事と家庭生活の両立のために必要なことは、どんなことだと思いますか。

一 家族の理解と協力が必要 一

「家族の理解と協力」と回答した人が、66.0%でもっとも多く、次いで「介護サービスの充実」「育児サービスの充実」「会社など組織の管理者の理解と協力」が約5割となっている。



家庭生活について

【日常生活の時間】

◆ 生活時間についてお答えください。

－ こんなにある生活時間の男女差 －

平日でみると、仕事や余暇の時間では約1時間男性が多く、家事・育児では2時間から3時間以上女性が多くっており、合計すると男性より女性の方が労働時間が長いことがわかる。

生活時間記入者の平均時間と男女差

		仕事	家事	家事	子育て	介護・看護	余暇
				(全対象者(0時間・無回答含む))			
平日	男性	9時間6分	1時間30分	36分	1時間36分	2時間24分	4時間18分
	女性	7時間54分	3時間42分	3時間00分	5時間12分	3時間18分	3時間18分
	男女差(※)	1時間12分	2時間12分	2時間24分	3時間36分	54分	1時間
休日	男性	4時間30分	2時間6分	54分	4時間12分	2時間18分	7時間48分
	女性	4時間36分	4時間42分	3時間30分	7時間36分	3時間6分	5時間25分
	男女差(※)	6分	2時間36分	2時間36分	3時間24分	48分	2時間23分

(※) 男性の方が時間の長い項目は差を青で、女性の方が時間の長い項目は差を赤で表示

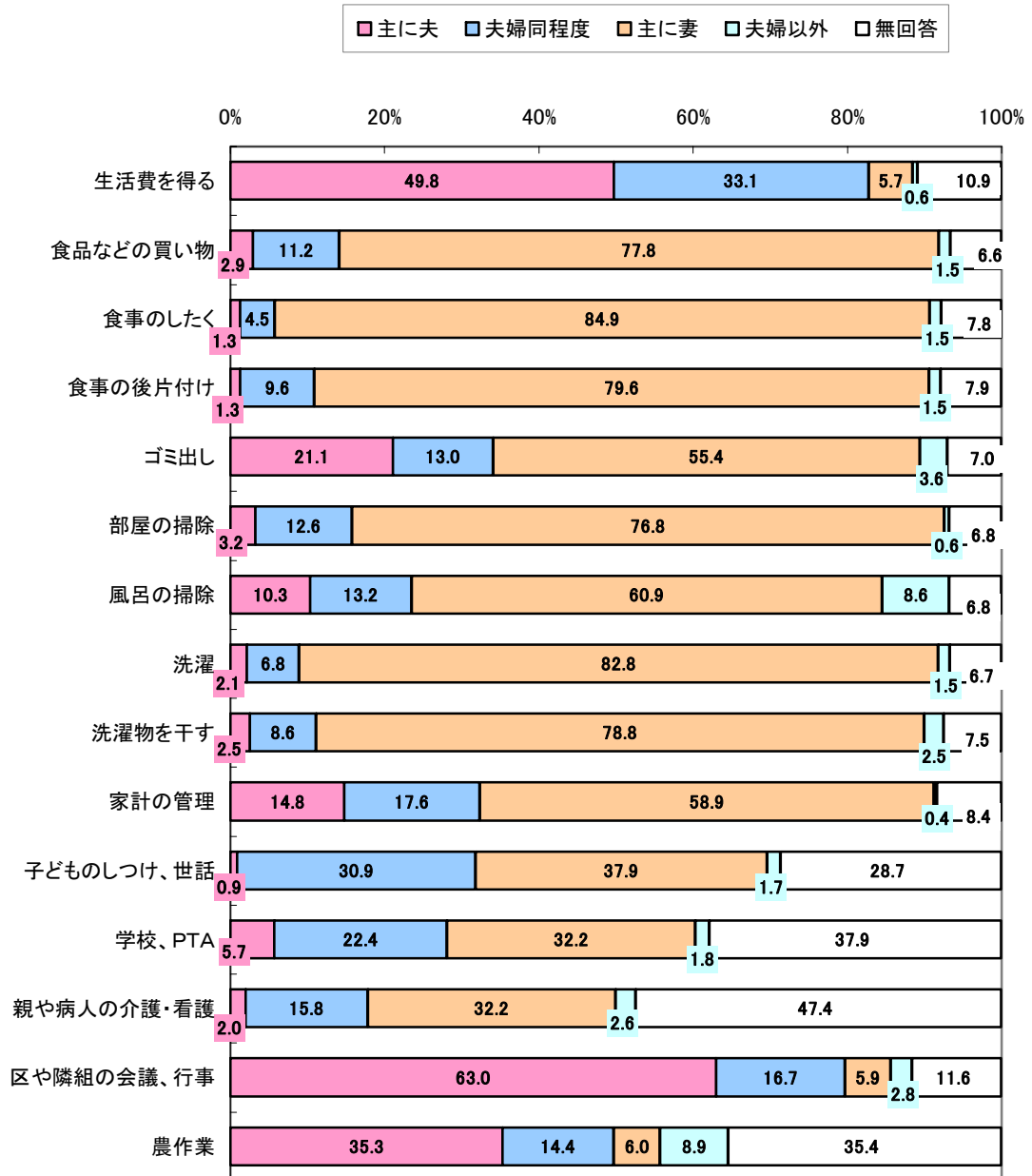
【夫婦の仕事・家事分担】

◆ 次の事柄について、夫婦のどちらが主にされていますか。

－ 家事のほとんどを妻が負担 －

15項目中、家事に関する9項目で「主に妻」への回答が過半数を占めている。反対に「主に夫」への回答が多かった項目は、「区や隣組の会議、行事」が63.0%、「生活費を得る」が49.8%、「農作業」が35.3%で3項目となっている。

<夫婦の仕事・家事分担>



人権について

【DVの経験】

◆ DVについて、経験または見聞きしたことがありますか。

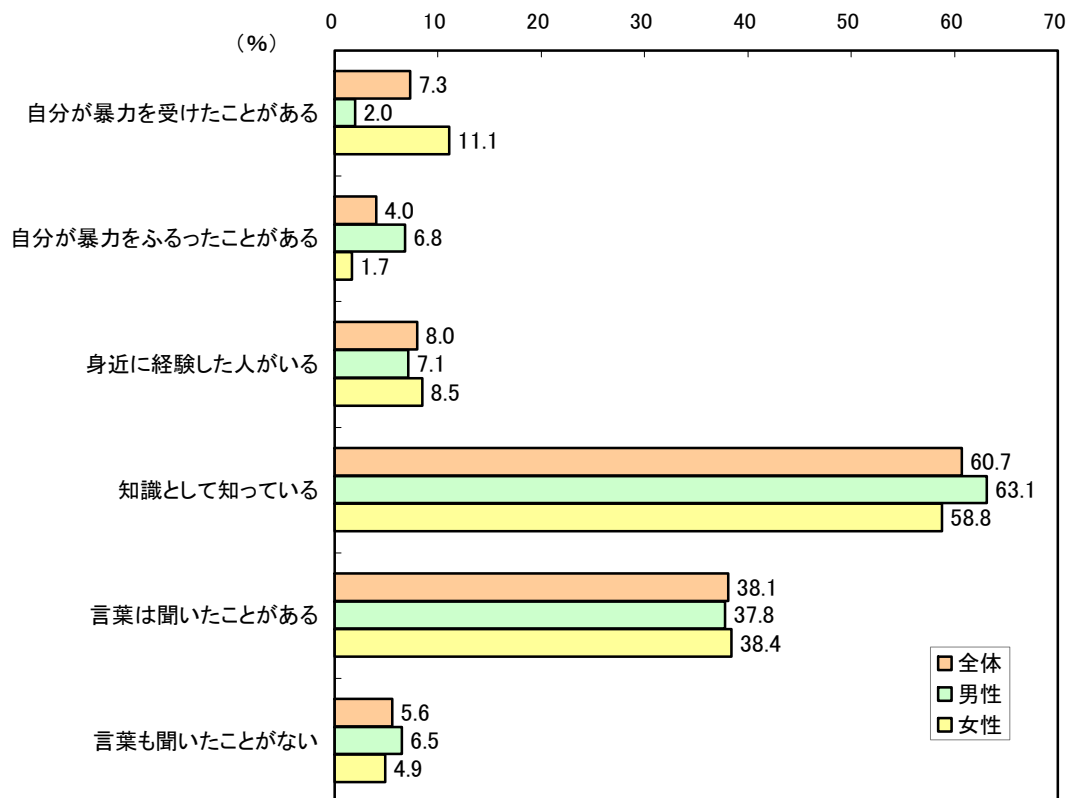
— 女性の10人に1人は暴力を受けたことがある —

「暴力を受けたことがある」と回答した人は、男性2.0%で、女性11.1%となっている。女性は、10人に1人が暴力を受けたことになり、被害者の多くは女性となっている。また、50歳代・60歳代で多い結果となっている。

「暴力をふるったことがある」と回答した人は、男性6.8%で、女性は1.7%となっている。

「知識として知っている」への回答は60.7%で、「言葉は聞いたことがある」が38.1%となっている。

<DVの経験>

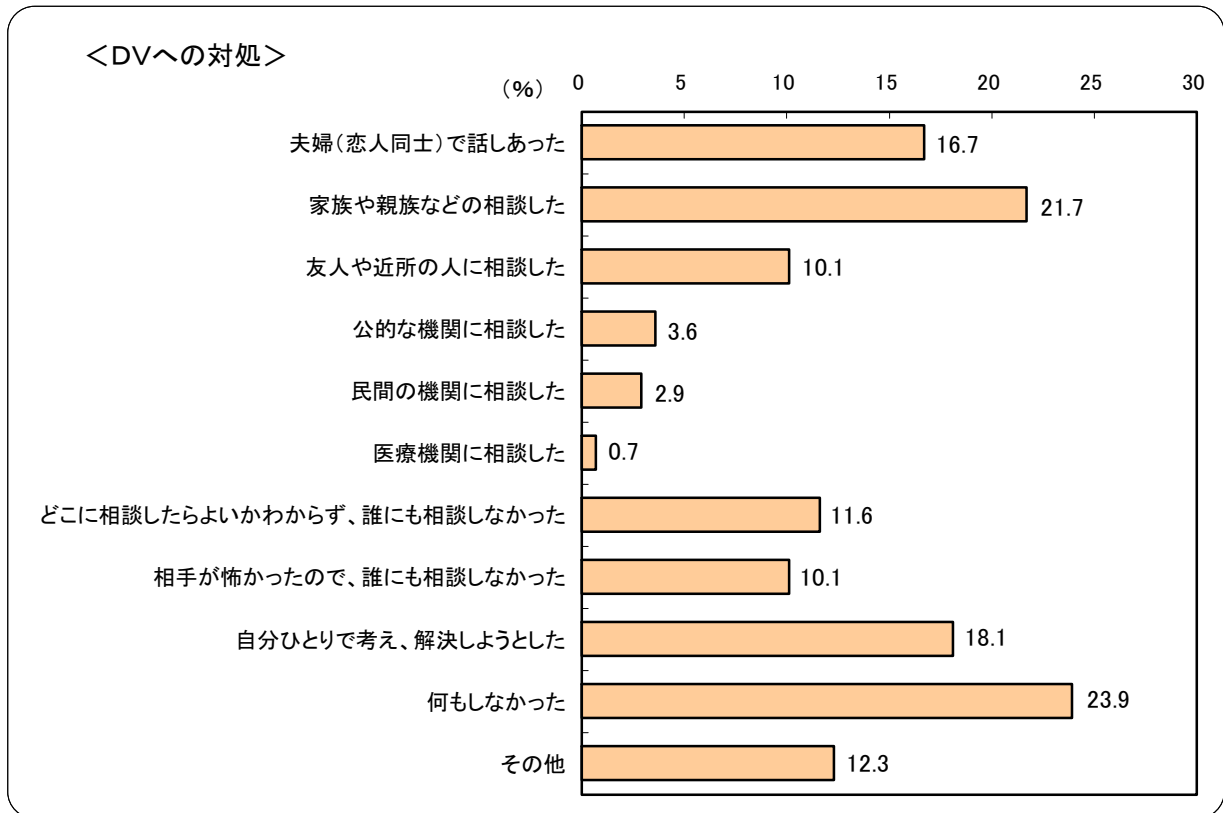


【DVへの対処】

◆DVを経験したり見聞きした時、どうしましたか。

－ 何もしなかったが多い －

「何もしなかった」への回答がもっとも多くなっているが、「自分ひとりで考え、解決しようとした」や「誰にも相談しなかった」への回答も多くなっている。

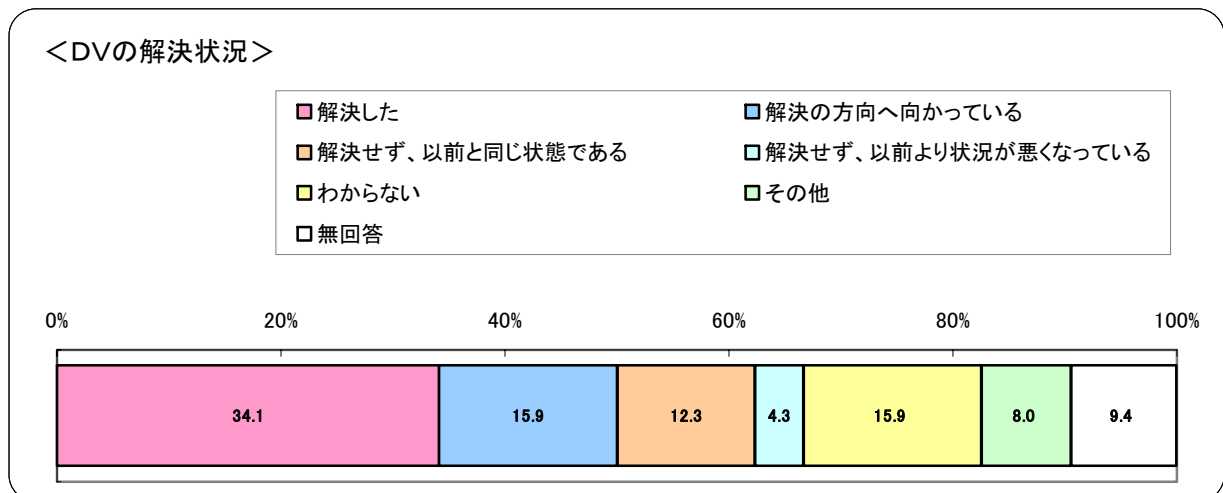


【DVの解決状況】

◆前問の結果、問題は解決しましたか。

－ 約3割は未解決 －

34.1%の人が「解決した」と回答しているが、32.5%は、まだ未解決となっている。



社会参加について

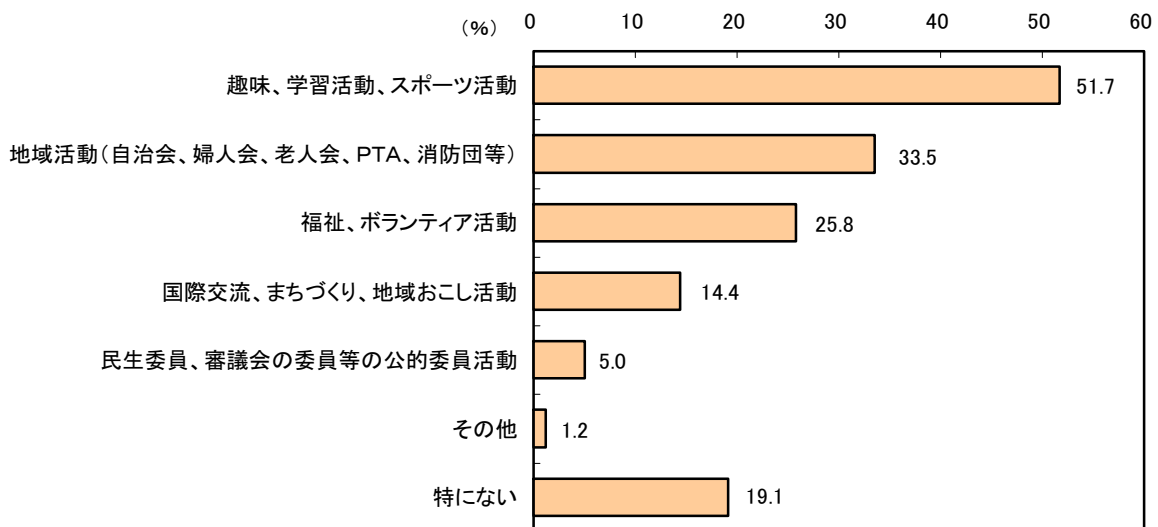
【社会参画の状況や希望】

◆1年間に行った社会活動や、今後、行いたい社会活動はどれですか。

一 生涯学習などへの参加意欲が高い 一

生涯学習や地域活動、ボランティア等の社会活動への参画状況や参加希望については、75.3%（826人中622人）の人が回答しており、参加意欲は高くなっている。

<社会参画状況・希望>



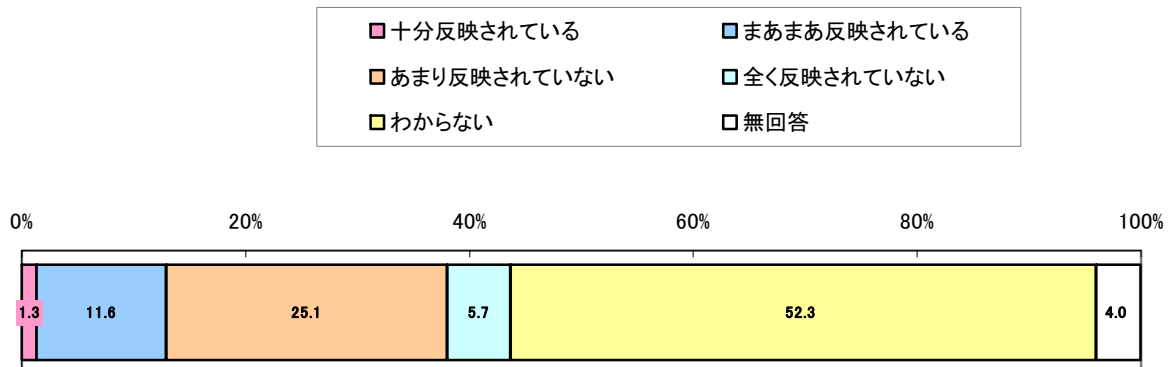
【まちづくりへの女性意見の反映】

◆京丹後市のまちづくりや行政には、女性の意見が反映されていると思いますか。

一 十分に反映されていない女性の意見 一

「わからない」と回答した人が、52.3%でもっとも多くなっているが、「反映されていない」への回答は、30.8%、「反映されている」は12.9%で、「反映されていない」への回答が多くなっている。

<女性意見の反映>



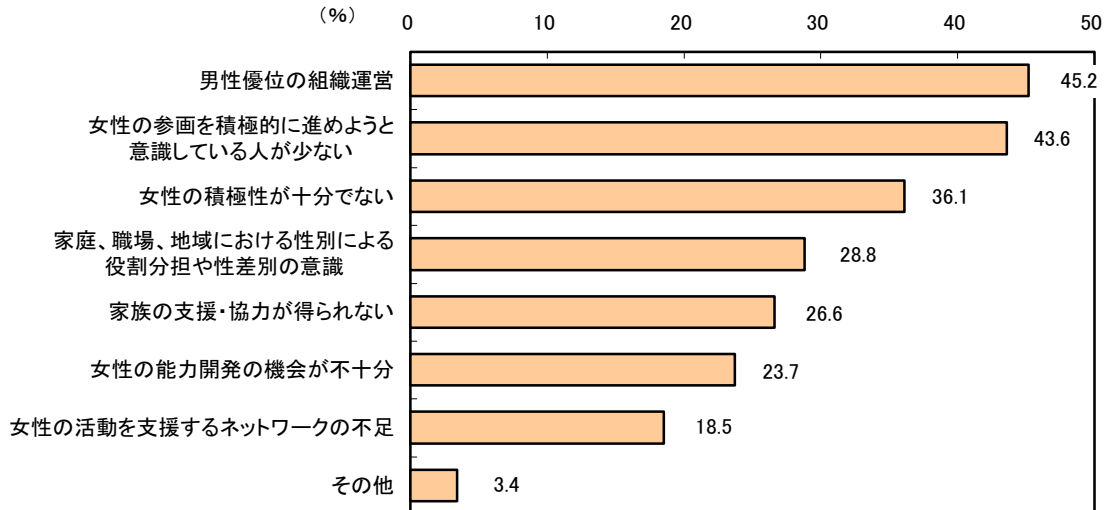
【政策決定の場に女性の参画が少ない理由】

◆ 政策の企画や方針決定の過程に、女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。

－ 男性優位の組織運営が多数 －

「男性優位の組織運営」への回答が45.2%でもっとも多く、次いで「女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない」が43.6%となっている。また、「女性の積極性が十分でない」への回答も36.1%となっている。

＜女性の参画が少ない理由＞



【市議員への女性の参画意向】

◆ 京丹後市からいろんな委員会等の委員になってほしいと依頼されたらどうしますか。
(男性は、妻などに依頼があった場合)

－ 参画意向は女性で約6割、男性で約8割 －

女性は、「積極的に委員になる」と「時間などの余裕があれば委員になる」などの条件付きの意向をあわせると、約6割が参画意向を示している。

また、男性については、「積極的に委員になることを勧める」と「時間などの余裕があれば委員になることを勧める」などの条件付きの意向をあわせると、約8割が自分の妻などに参画を勧めるという結果となっている。

＜市議員への女性の参画意向＞

